

授業科目 介護過程 III

【担当教員名】 岡田 史		対象学年	2	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：G10】 ・介護過程の意義を理解し、介護サービス提供において介護過程の実践的展開ができる能力を身に付ける。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1) 介護過程の意義と目的を理解することができる 2) 情報を収集し分析する手法を理解することができる 3) 情報を統合しニーズを導き出し目標を設定することができる 4) 介護過程のプロセスに沿って計画作成ができる 5) 介護過程と実際の介護サービス提供との関連性を理解し説明することができる					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	介護過程における生活環境の影響を考える		1	講義、演習	
2	介護過程に活かす ICF の考え方		1	演習	
3	介護過程に活かす ICF の考え方		1	演習	
4	介護過程に活かす ICF の考え方		1	演習	
5	介護過程に活かす ICF の考え方		1	演習	
6	様々な生活場面における介護支援		1, 2	演習	
7	様々な生活場面における介護支援		1, 2	演習	
8	様々な生活場面における介護支援		1, 2	演習	
9	様々な生活場面における介護支援		1, 2	演習	
10	ケアプラン演習		1・2・3・4・5	演習	
11	ケアプラン演習		1・2・3・4・5	演習	
12	ケアプラン演習		1・2・3・4・5	演習	
13	ケアプラン演習		1・2・3・4・5	演習	
14	ケアプラン演習		1・2・3・4・5	演習	
15	まとめ		1・2・3・4・5	演習	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況・レポート等から総合的に判断する。			【履修上の留意点】		